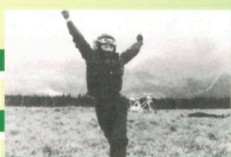


# ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.3

The History of Japanese Independent Cinema III  
Retrospective of Pia Film Festival vol.3



# PIA FILM FESTIVAL

2010年 7月1日(木) - 7月22日(木)

※休館日の月曜日ならびに「カルト・ブランシュ」開催の7月16日(金)、21日(水)を除く。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、ぴあ株式会社

料金＝共催企画の特別料金

前売券(日時指定・全席自由席)：800円

当日券：一般1000円／高校・大学生・シニア900円／小・中学生600円／

障害者、付添者(原則1名まで)500円／キャンパスメンバーズ750円

定員151名(各回入替制)

\*雑誌「ぴあ」最新号または「ぴあカード」のご提示により一般の当日料金を900円に割引いたします。

■前売券は、6月12日から各上映日の2日前までチケットぴあ[全国のチケットぴあ店舗、サークルK・サンクス、インターネット(<http://t.pia.jp/cinema/cinema.html>)]にて販売します(Pコード556-571)。電話予約(0570-02-9999)は各上映日の5日前までの受付となります。フィルムセンター窓口での販売はございません。

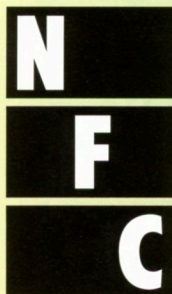
ぴあ.jp/t  
電子チケット  
ぴあ  
0570-02-9999

・前売券は指定の日時のみ有効で、払い戻しはできません。

■当日券(当日・当該回のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開映時刻まで販売します。ただし、前売券が売り切れた場合は、当日券はございません。当日券の有無は各上映の前日にフィルムセンターのホームページ(<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。

発券＝地下1階受付

- ・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。
- ・開映後の観覧券の販売はいたしません。



東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo





# 小ホール 上映作品

日本インディペンデント映画史シリーズ③  
ぴあフィルムフェスティバル  
の軌跡 vol.3  
The History of Japanese Independent Cinema III  
Retrospective of Pia Film Festival vol.3

フィルムセンターは1952年の発足以来、我が国唯一の国立映画保存機関として、大手映画会社や独立プロダクションの長篇劇映画はもちろん、文化記録映画やニュース映画なども含む幅広い領域を対象にフィルムや関係資料の収集、保存、公開に努めてきました。

また、近年は自主映画や学生映画、ホームムービーなどを含む広大な個人映画の分野への取り組みを目標に掲げ、そのための糸口として一昨年新たに「日本インディペンデント映画史シリーズ」を開始するとともに、世界最大の自主映画コンペティションの歩みを振り返る「ぴあフィルムフェスティバルの軌跡」を、2回にわたり開催してきました。第3回となるこの「vol.3」では、受賞監督がPFFのプロデュースで映画制作を行う「PFFスカラシップ作品」の歴史を一望します。

フィルムセンター・大ホールで開催される「第32回ぴあフィルムフェスティバル」とあわせて、お楽しみください。

■監=監督 ○=原作 □=脚本 ●=撮影 ◎=美術  
④=音楽 ⊕=出演

■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

フィルムセンターでは、お客様に快適な環境で映画を鑑賞していただくため開映後の入場をお断りしていますが、本企画では前売制の導入に伴い、前売券をお持ちの方に限り途中入場に制限を設けておりません。

なお、当日券の販売は上映開始(2本以上の作品が上映されるプログラムの場合は1本目の上映開始)とともに締め切らせていただきます。

ご鑑賞の際には時間に余裕をもってご来館いただきますよう、引きつぎ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 7/1(木)2:00pm 7/10(土)3:00pm

## 第1回16ミリ映画制作援助作品

### イみてーしょん、インテリあ。

(45分・16mm・カラー)

1984年(第7回)の入選作『0×0(ゼロカケルコトノゼロ)』で注目を集め「ゴダール少女」とも称された風間志織が、なじみのスタッフや友人たちとともに手がけた記念すべき第1回PFFスカラシップ作品(当時「16ミリ映画制作援助作品」)。複雑な家庭に育つ17歳の多感な少女を主人公に、摩訶不思議な物語が展開する。



'85◎◎◎風間志織◎高橋潔◎吉川満佐己、福木靖子、岩野麻里、松井聖子◎小峰仁己、伊藤亜希子、立川須美子、長谷川直子、飯沼佳江、柴本真里、坂本珠里、河上晶子、井上知子、河上修、佐野仁美

## 第5回PFFスカラシップ作品

### 大いなる学生(50分・16mm・カラー)

1989年(第12回)の『花』で審査員の佐野元春から絶賛されグランプリを受賞した小池隆が、同じく審査員の市川準によるプロデュースで完成させた作品。時代を100年後に設定し、対照的な二人の幼馴染み一堅実に生きる女首の青年と“宇宙征服”を夢見るインテリ青年一の奇妙な友情を描いている。



'91◎◎◎◎小池隆◎奈良岡英明◎一ノ戸宏彰◎篠崎耕平、磯野晃◎岩松了、麻生絵里子、中川泰伸、上村暁子、加藤尚美、小形雄二、綾田俊樹、栗原康行

2 7/1(木)6:00pm 7/11(日)3:00pm

## 第2回PFFスカラシップ作品

### はいかぶり姫物語(100分・16mm・カラー)

『サンデードライブ』(2000年)の斎藤久志監督が1985年(第8回)の入選作『うしろあたま』との連続性を残す形で、男子予備校生と売春しているらしい女子高生の切ない関係を描く。第1回とは異なり、撮影チームには若手のプロが加わり、キャストもオーディションで選ばれた。



'86◎◎◎◎斎藤久志◎福島啓子◎石井勲◎中村伸一、石井克英◎村山竜二、庄司昌宏、井上克二◎菊池純子、平野勝之、今西里江、石田貴子、三枝千鶴、櫻村美紀、西村むつみ、二階堂智

3 7/2(金)2:00pm 7/13(火)6:00pm

## 第3回PFFスカラシップ作品

### バス(80分・16mm・カラー)

『幸福な食卓』(2007年)の小松隆志が、1986年(第9回)入選作品『いそげブライアン』で見せた勢いそのままに、14回に渡る脚本の練り直しを経て仕上げた異色のSF映画。“都市”のコンピューターに支配された“村”で、ロボトミーにされた路線バスの運転手が復活をかけて闘う。



'87◎◎◎小松隆志◎藤井良久◎村越壮希◎高木潔◎伊藤裕康、安藤恭一、小松秀彦、黒岩智子、村越壮希、白田徹、山野井克己、大須賀兼男、鈴木剛彦、原山健一

4 7/2(金)6:00pm 7/11(日)0:00pm

## 第4回PFFスカラシップ作品

### 自転車吐息(93分・16mm・カラー)

2008年の『愛のむきだし』がベルリン国際映画祭フォーラム部門でカリガリ賞と国際批評家連盟賞をダブル受賞した園子温(1986年[第9回]に『俺は園子温だ!!』翌年に『男の花道』で入選)の作品。過疎化する田舎に取り残された浪人生活3年目の青年二人が、作りかけて終わった高校時代の映画「一塁」の続きを撮ることに。



'89◎◎◎◎園子温◎斎藤久志◎北沢弘之◎ボボ・ラヴジル(請井進、会津わたる、山ちゃん)◎園子温、杉山正弘、河西宏美、山本浩子、山道亮介、高木陽子、園いずみ、牧野剛、園音己、井口昇

5 7/4(日)0:00pm 7/15(木)6:00pm

## 第6回PFFスカラシップ作品

### 二十才の微熱(114分・16mm・カラー)

2008年の『ぐるりのこと。』で第63回毎日映画コンクール日本映画優秀賞を受賞した橋口亮輔(『夕辺の秘密』で1989年[第12回]グランプリ受賞)の作品。ゲイバーで働く大学生をめぐって、彼を慕う男子高校生や女友達の切ない気持ちが行き交う青春ドラマ。単館上映で劇場記録を塗り替えるヒットとなった。



'92◎◎◎◎橋口亮輔◎戸澤潤一、高橋義仁、鈴木慎二◎篠崎耕平、磯野晃、村山竜二◎袴田吉彦、遠藤雅、片岡礼子、山田純世、佐藤瑠治、原田文明、草野康太、川口洋一、柴野長男、菊川浩二

6 7/4(日)3:00pm 7/22(木)2:00pm

## 第7回PFFスカラシップ作品

### 裸足のピクニック(92分・16mm・カラー)

『ウォーターボーイズ』(2001年)や『ハッピーフライト』(2008年)などで人気の高い矢口史靖(『雨女』で1990年[第13回]グランプリ受賞)が、平凡な女子高生の派手な転落人生を描いたブラック・コメディ。矢口は1994年以来、脚本の鈴木卓爾とともに“ワンピース”と称するワンシーン・ワンカット構成の映画作りに取り組んでいる。



'92◎◎◎◎矢口史靖◎鈴木卓爾、中川泰伸◎古澤敏文、鈴木一博◎福村彰彦◎うの花(橋本兼一、萩原崇弘)◎芹川砂織、Mr.オクレ、梶三和子、浅野あかね、娘太郎、上村美保子、鈴木砂羽、横田睦美、友沢久美、池田朋美

7 7/3(土)0:00pm 7/14(水)6:00pm

## 第8回PFFスカラシップ作品

### この窓は君のもの(103分・16mm・カラー)

新作『武士道シックスティーン』が公開された古厩智之(『灼熱のドッジボール』で1992年[第15回]グランプリ受賞)が、緑豊かな田舎を舞台に、引越し間近の少女と彼女に想いを寄せる少年のほろ苦いひと夏を綴る。青春をみずみずしく描き上げた本作で、古厩は日本映画監督協会新人賞を受賞した。



'93◎◎◎◎古厩智之◎鈴木一博◎磯見俊裕◎山田功◎清水優雅子、梅英雄、黒瀬裕美、久保田芳幸、山口徹、上赤俊朗、野間亜由子、仙堂田亮子、山本浩、上原崇弘



8 7/3(土)3:00pm 7/13(火)2:00pm

第9回PFFスカラシップ作品

タイムレス メロディ(95分・35mm・カラー)

『青い車』(2004年)の奥原浩志(『ピクニック』で1993年[第16回]キャストイング賞、観客賞受賞)が、さびれたピリヤード場を舞台に、そこへ出入りする男女の曖昧な感情や、彼らが慕う謎の常連客とその息子の複雑な親子愛を、やさしいタッチで描き上げている。1999年釜山国際映画祭でグランプリを受賞。



'99◎◎◎奥原浩志◎◎福本淳◎◎林千奈◎◎青柳拓次(ヨロシミュージック)◎◎市川実日子、近藤太郎、竹本純平、五十嵐美恵子、草野裕、大森立嗣、河野智典、洲上零、三浦景虎

12 7/7(水)6:00pm 7/17(土)0:00pm

第13回PFFスカラシップ作品

バーバー吉野(96分・35mm・カラー)

新作『トイレット』の公開を控えている荻上直子(『星ノくノ夢ノくノん』で2001年[第23回]音楽賞、観客賞受賞)の長篇デビュー作。のどかだが少年たちにおかっぱ頭を義務付ける古風な田舎町を舞台に、価値観の異なる子どもと大人の交流がコミカルに暖かく描かれている。ベルリン国際映画祭児童映画部門特別賞を授与。



2003◎◎◎荻上直子◎◎上野彰吾◎◎松塚隆史◎◎もたいまさこ、米田良、大川翔太、村松諒、宮尾真之介、石田法嗣、岡本奈月、森下能幸、三浦誠己、たぐませいこ

16 7/9(金)6:00pm 7/18(日)0:00pm

第17回PFFスカラシップ作品

パークアンドラブホテル(111分・35mm・カラー)

『珈琲とミルク』で2005年(第27回)審査員特別賞、企画賞、クリエイティブ賞の3賞を受賞した熊坂出の作品。屋上を公園として開放しているラブホテルの女性オーナーと、様々な悩みをかかえた女性たちの交流をあたたく描いている。第58回ベルリン国際映画祭で日本初のお最優秀新人作品賞を受賞した。



2007◎◎◎熊坂出◎◎袴田竜太郎◎◎松塚隆史◎◎日比谷カタン◎◎リイ、梶原ひかり、ちはる、神農幸、越智星斗、玉野力、吉野憲輝、高木優希、津田寛治、光石研

9 7/6(火)6:00pm 7/15(木)2:00pm

第10回PFFスカラシップ作品

空の穴(127分・35mm・カラー)

新作『海炭市叙景』の公開を控えている熊切和嘉(『鬼畜大宴会』で1997年[第20回]準グランプリ受賞)が、なじみのスタッフ&キャストと共に制作した作品。故郷・北海道を舞台に、ドライブインの食堂で働く地味な中年男の切なくも爽やかな恋が描かれる。菊地凛子(百合子)の初主演作でもある。



2001◎◎◎熊切和嘉◎◎穂月彦◎◎橋本清明◎◎西村徹◎◎赤犬、松本章◎◎寺島進、菊地百合子、澤田俊輔、権藤俊輔、さいちめぐみ、矢島美鶴、辰巳裕二、田口雄介、久保和明、岩淵正樹

13 7/8(木)2:00pm 7/20(火)6:00pm

第14回PFFスカラシップ作品

運命じゃない人(98分・35mm・カラー)

『アフタースクール』(2007年)の内田けんじ(『WEEKEND BLUES』で2002年[第24回]企画賞ほか2賞を受賞)が撮ったアクション・コメディ。気弱で極度にお人好しなサラリーマン宮田のまわりで起こる、ある一夜の出来事を異なる角度からスリリングに描いている。2005年カンヌ国際映画祭批評家週間でフランス作家協会賞など4賞を受賞。



2004◎◎◎内田けんじ◎◎井上恵一郎◎◎黒須康雄◎◎石橋光晴◎◎中村靖日、霧島れいか、山中聡、真島秀和、近松仁、杉内貴、北野恒安、法福法彦、李鐘浩、松澤仁晶

17 7/10(土)0:00pm 7/20(火)2:00pm

第18回PFFスカラシップ作品

不灯港(101分・35mm・カラー)

2006年(第28回)に『MIDNIGHT PIGSKIN WOLF』が企画賞と観客賞を受賞した内藤隆嗣の長篇デビュー作。38歳にして独身の漁師・万造は、花嫁募集中。お見合いパーティに参加するも空回りばかりの彼が、美津子という小悪魔的な女性と出逢う。孤独で不器用な漁師のロマンをコミカルに描き出した作品。



2008◎◎◎内藤隆嗣◎◎橋本清明◎◎井上心平◎◎松本章(赤犬)◎◎小手伸也、宮本裕子、広岡和樹、斉藤文太、柴崎武史、田中次郎、鷹赤見、ダイヤモンドユカイ、竹本孝之、鹿沼絵里

10 7/6(火)2:00pm 7/17(土)3:00pm

第11回PFFスカラシップ作品

IKKA:一和(75分・35mm・カラー)

史上最多の応募数があった1999年(第21回)に審査員特別賞と音楽賞を受賞した『他、3本。』の川合晃が監督。大阪を舞台に家庭崩壊しかけた一家が一和を迎えるまでを、威勢のいい関西弁とスピーディーな展開で見せる痛快なアクション・エンターテインメント。



2002◎◎◎川合晃◎◎青木豪◎◎藤井良久◎◎須坂文昭◎◎登田啓(ザ・スリル)◎◎國村隼、秋野暢子、三浦誠己、西興一朗、三島ゆたか、いぬいりさこ、吉井慎一、山本竜二、池田克成、大出勉

14 7/8(木)6:00pm 7/14(水)2:00pm

第15回PFFスカラシップ作品

水の花(92分・35mm・カラー)

2003年(第25回)に準グランプリと観客賞を受賞した『鳥籠』の延長線上にあるともいえる木下雄介の作品。幼い頃、母親に捨てられたトラウマを持つ少女が、ひよんことから父親連いの妹と旅に出ることに…。『自立』と『依存』という矛盾した感情を抱えながら成長していく少女の姿と繊細な心理を、台詞に頼らず見事に描き出した作品。



2005◎◎◎木下雄介◎◎丸池納◎◎尾関龍生◎◎寺島咲、小野ひまわり、田中哲司、黒沢あすか

11 7/7(水)2:00pm 7/18(日)3:00pm

第12回PFFスカラシップ作品

BORDER LINE(118分・35mm・カラー)

『フラガール』(2006年)の李相日(今秋、新作『悪人』が公開予定)が、日本映画学校の卒業制作『青～chong～』で2000年(第22回)のグランプリを含む4賞を受賞して手掛けた作品。実際に起きた少年の母親殺害事件をモチーフに、家族関係に傷ついた者たちが抱える複雑な心情を見事に描き出した。



2002◎◎◎李相日◎◎松浦本◎◎早坂伸◎◎菊地章雄◎◎AYU◎◎沢木哲、前田綾花、光石研、村上淳、森下能幸、田中要次、千葉哲也、宮内知美、歌川稚子、三田直典

15 7/9(金)2:00pm 7/22(木)6:00pm

第16回PFFスカラシップ作品

14歳(114分・35mm・カラー)

『群青いろ』の名で映像ユニットを組んでいる廣末哲万(『さよなら さよなら』で2004年[第26回]準グランプリ受賞)が監督、高橋泉(『ある朝スウプ』で同年グランプリ受賞)が脚本を担当した作品。多感な14歳の満たされない思いや心の傷をリアルに描いている。芸術選奨・文部科学大臣新人賞を受賞。



2006◎◎◎廣末哲万◎◎高橋泉◎◎橋本清明◎◎松塚隆史◎◎碓氷記◎◎並木愛枝、染谷将太、小根山悠里香、並井薫明、夏生さち、橋直、相田美咲、河原美咲、榎本宇伸

ぴあフィルムフェスティバル 関連企画

CARTE BLANCHE(カルト・ブランシュ)

一期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画―  
主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、エイバックス・ミュージック・パブリッシング株式会社、ぴあ株式会社  
企画協力:株式会社REALWAVE  
会場:東京国立近代美術館フィルムセンター・小ホール(地下1階)  
2009年から始まり6回行われたCARTE BLANCHE。現在、最前線で活躍中の映画人や文化人が、フィルムセンターの日本映画コレクションから作品を選定。上映と解説を行います。

第1回 7月16日(金) 2:30pm〜  
―僕たちをときめかすエンターテインメント―  
『独立愚連隊西へ』岡本喜八監督作品  
(1960年/107分/35mm/白黒)  
石井裕也監督(『川の底からこんにちは』他)と真利子哲也監督(『イエローキッド』他)が対談解説

第2回 7月21日(水) 6:00pm〜  
―忘れがたい日本のファンタジー―  
『愛の亡霊』大島渚監督作品  
(1978年/107分/35mm/カラー)  
美術監督・種田陽平(『キル・ビルvol.1』『空気人形』他)がセレクト&解説 聞き手:船貞真珠監督(『携帯彼氏』他)

第3回のおひ後日発表  
\*詳細は当該チラシ、CARTE BLANCHEのHP  
(http://www.carteblanche-movie.com/)でお知らせします。  
参加料  
【前売参加料】800円  
【当日参加料】一般・シニア(65歳以上) 1,000円  
小・中・高・大校生、  
障害者・障害者・付添者 500円



| 月       | 火                                  | 水                                     | 木   | 金                                     | 土   | 日                                     |
|---------|------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
|         |                                    |                                       | 1<br>イみてーしょん、インテリ<br>あ。<br>大いなる学生<br>2:00pm<br>(45分)<br>(50分) | 3<br>バス<br>2:00pm<br>(80分)            | 7<br>この窓は君のもの<br>0:00pm<br>(103分)                             | 5<br>二十才の微熱<br>0:00pm<br>(114分)       |
|         |                                    |                                       | 2<br>はいかぶり姫物語<br>6:00pm<br>(100分)                             | 4<br>自転車吐息<br>6:00pm<br>(93分)         | 8<br>タイムレス メロディ<br>3:00pm<br>(95分)                            | 6<br>裸足のピクニック<br>3:00pm<br>(92分)      |
|         | 10<br>IKKA:一和<br>2:00pm<br>(75分)   | 11<br>BORDER LINE<br>2:00pm<br>(118分) | 13<br>運命じゃない人<br>2:00pm<br>(98分)                              | 15<br>14歳<br>2:00pm<br>(114分)         | 17<br>不灯港<br>0:00pm<br>(101分)                                 | 4<br>自転車吐息<br>0:00pm<br>(93分)         |
| 5       | 9<br>空の穴<br>6:00pm<br>(127分)       | 12<br>バーバー吉野<br>6:00pm<br>(96分)       | 14<br>水の花<br>6:00pm<br>(92分)                                  | 16<br>パークアンドラブホテル<br>6:00pm<br>(111分) | 1<br>イみてーしょん、インテリ<br>あ。<br>大いなる学生<br>3:00pm<br>(45分)<br>(50分) | 2<br>はいかぶり姫物語<br>3:00pm<br>(100分)     |
| 7<br>12 | 8<br>タイムレス メロディ<br>2:00pm<br>(95分) | 14<br>水の花<br>2:00pm<br>(92分)          | 9<br>空の穴<br>2:00pm<br>(127分)                                  | 9<br>CARTE<br>BLANCHE<br>(カルト・ブランシュ)  | 12<br>バーバー吉野<br>0:00pm<br>(96分)                               | 16<br>パークアンドラブホテル<br>0:00pm<br>(111分) |
|         | 3<br>バス<br>6:00pm<br>(80分)         | 7<br>この窓は君のもの<br>6:00pm<br>(103分)     | 5<br>二十才の微熱<br>6:00pm<br>(114分)                               |                                       | 10<br>IKKA:一和<br>3:00pm<br>(75分)                              | 11<br>BORDER LINE<br>3:00pm<br>(118分) |
| 19      | 17<br>不灯港<br>2:00pm<br>(101分)      | 6<br>裸足のピクニック<br>2:00pm<br>(92分)      |   |                                       |   |                                       |
|         | 13<br>運命じゃない人<br>6:00pm<br>(98分)   | 15<br>14歳<br>6:00pm<br>(114分)         |   |                                       |   |                                       |

小ホール  
7月

**大ホール**

第32回  
**ぴあフィルムフェスティバル**  
2010年7月16日(金)~30日(金)

※前夜祭:7月15日(木)  
主催: PFFパートナーズ(ぴあ、TBS)/財団法人 日本映像国際振興協会  
共催: 東京国立近代美術館フィルムセンター/PFFパートナーズ(ホリプロ)  
後援: 文化庁/社団法人 日本映画製作者連盟/NPO法人 映像産業振興機構(VIPO)/協同組合 日本映画監督協会  
特別協賛: セガサミーグループ  
協賛: 財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構/Post-it  
協力: 早稲田大学

**[前夜祭]**  
若松孝二監督作品『キャタピラー』の特別先行上映  
※舞台挨拶: 若松孝二監督、寺島しのぶ、大西信満

**[コンペティション部門]**  
PFFアワード2010 ※各回、ゲスト来場予定

**[招待作品部門]**  
日本映画新作プレミア上映  
※来場予定のゲスト: 『トイレット』一荻上直子監督/『ゲゲゲの女房』鈴木卓爾監督/『ヘヴンズ ストーリー』瀧々敬久監督、窪岡明希、長谷川朝晴、忍成修吾、山崎ハコ

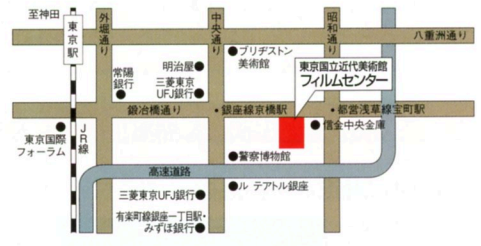
**若松孝二特集**  
※対談つき(My Best Wakamatsu)プログラムのゲスト: 『性賊/セックスジャック』若松孝二監督、瀬々敬久監督/『寝盗られた宗介』若松孝二監督、阪本順治監督/『胎児が密猟する時』若松孝二監督、石井岳龍(聰互)監督

**イ・サンウ特集**  
※来場予定のゲスト: 『ママは娼婦』オール・アバウト・マイ・ファーザー』イ・サンウ監督

**ジョン・カサヴェテス特集**  
**短篇スペシャル**  
※来場予定のゲスト: 『ワンピース(2010)』矢口史靖監督、鈴木卓爾監督/『きみは僕の未来』浅野晋康監督/山村浩二講座-山村浩二監督/平林勇講座-平林勇監督

**[PFFスカラシップ]**  
第20回PFFスカラシップ作品『家族X』の上映  
※ゲスト来場予定

\*上映プログラム、券売情報などの詳細は当該チラシ、ぴあフィルムフェスティバルのホームページ(<http://pff.jp/>)をご覧ください。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600  
NFCホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>  
NFC携帯電話ホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>